

令和3年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号:22018

学校名: 篠路西小学校

改訂のポイント		<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現を目標に、人との関わりの中で成就感・達成感を味わえる授業の工夫を行う。</p> <p>○対話を大切にした授業研究の継続と、支援が必要な子どもに視点をあてた授業づくりの工夫を行っていくことで、子どもの確かな力を育てる。</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆対話の充実から学習を深め、みんなで話し合うことの楽しさを実感できる子ども</p> <p>☆自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてる子ども</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>「分かる・できる・楽しい授業」を目指した授業改善に取り組んだ。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒児童アンケートの結果、「勉強していておもしろい」子どもが79%。「分からないことは、よく考えて頑張ろうとしている」子どもが79%という回答になった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう個に応じた指導の充実を図るとともに、今後もより一層成就感・達成感を味わえる授業づくりを行っていく。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>「課題探求的な学習」を取り入れた授業の充実を図ることで、子どもの意欲的な発表が見られたり、友達と多く対話できたりするような授業の構築を目指した。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒児童アンケートの結果、「先生や友達の話をよく聞いたり、自分の考えをはっきりと話したりしている」子どもが79%という回答になった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇「自分で計画を立てたり、やり方を考えたりして学習に取り組む」ことに否定的な回答が27%となった。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>個別指導や少人数指導の更なる充実を図り、異動を厚くし、学習スタイルの共有化について、定着を図った。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒おはようタイムや家庭学習について、学校全体、学年共通の取組を行い、個の学ぶ力の向上に努めた。また、篠路西小「めざす学習の姿」を作成し、6年間での学習スタイルの定着を図った。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇「習ったことは、何回も繰り返し勉強したりしている」ことに否定的な回答が42%となった。家庭学習の取組方の工夫や必要な学びを児童自身が見いだせるような関わり方を更に行っていく。</p>
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>子どもの困り感に対応したきめ細かな手立てを取ることで、子どもが分かる・できる喜びを実感し、一人一人が確かな力を身に付けることができるようにする。</p>		
	具体的な改善策(取組)	<p>○「課題探究的な学習」を取り入れた授業の充実を図り、子ども一人一人の学びが深まるような授業を構成していくようにする。</p> <p>○小交流を単元(題材)の中に位置付けながら、子どもたちが主体的に課題を探求し、対話の充実を図っていく。</p> <p>○子どもの見方・考え方を引き出す教師の関わりを行っていくことで、友達と学ぶ楽しさを実感させていく。</p> <p>○支援が必要な子に視点をあてたUD的な発想のある授業づくりの工夫を進めていくなどして、子どもが伸びを実感できる学習指導を進めていく。</p> <p>○篠路西小「めざす学習の姿」に基づいた、学校全体での共通した学習スタイルの定着を図っていく。</p> <p>○客観的なものさしに基づいた実態の把握と指導の充実のための手立ての交流を行っていく。</p>		
方法	検証の方法	<p>○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の(日常のテストやノート、観察等)活用</p> <p>○全国学力・学習状況調査、2年生以上の学力テスト、年2回の児童アンケートの結果を活用</p> <p>○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)を活用</p>		